

「坂東市補助金等検討委員会チェックシート」(案)

名称		No.		補助金額 (円)		総合計 (A)+(B)	
----	--	-----	--	-------------	--	----------------	--

委員会評価	評価日：	委員名：	評価点数			
有効性	1	市民の福祉向上と利益の増進に効果がある。 (公益性の高い事業である。)	3	2	1	0
効率性	2	費用対効果は適切である。 (補助金の効果が現れている。)	3	2	1	0
適時性・緊急性	3	交付開始時の補助目的が現時点でも有効である。 (補助対象事業の内容は、現時点の社会経済情勢に合致している。)	3	2	1	0
必要性	4	市の施策と合致しており、市との役割分担が明確である。 (行政と市民の役割分担の中で、真に補助すべき事業である。)	3	2	1	0
公平性	5	多くの市民に便益が還元されている。 (特定の個人や一部の地域を対象としていない。)	3	2	1	0
団体目的との合致性	6	事業活動内容が団体の目的と合致している。 (事業内容が団体等の目的と合致している。類似団体が無い。)	3	2	1	0
受益者負担	7	受益者負担の水準は適切である。 (自主財源の確保に努めている。)	3	2	1	0
坂東市の地域性	8	市の特色や独自性を生かした事業である。 (坂東市らしさがある。)	3	2	1	0
委員会評価項目 計 (A)						

事務局評価	評価日：	担当名：	評価点数			
支出根拠の適合性	9	補助金等の支出根拠が明確である。 (交付要綱等が整備されている。)	3	2	1	0
会計の適切性	10	補助金等の使途が明確に確認できる。 (実績報告書の記載、団体の会計処理は適切である。)	3	2	1	0
使途の適用性	11	補助金等の使途は適切である。 (繰越金等が補助金額を上回っていない。迂回助成を行っていない。補助対象外とすべき経費は含まれていない。)	3	2	1	0
団体の自立性	12	団体等がすべき事務は、団体自身で行っている。 (市職員が事務処理をしていない。)	3	2	1	0
事務局評価項目 計 (B)						

(評価点数説明) 0：あてはまらない 1：どちらかというにあてはまらない
 2：どちらかというにあてはまる 3：あてはまる

特記事項	
------	--